

12年度第2回研究会開催のご案内

1 テーマ

「東京の防災まちづくりとコミュニティ」

2 概要

東京都は、阪神淡路大震災の惨状を教訓として「防災都市づくり推進計画」を策定し密集市街地の防災性向上を図った。いままた、東日本大震災を目の当たりにして、「木密地域不燃化10年プロジェクト」をスタートさせた。

阪神淡路大震災の復興の過程において、コミュニティの重要性がとくに指摘され、住民自身が自らのまちの「形」やまちづくりの「進め方」を決定すべきとの考え方が主流となった。その方向性は、東日本大震災の被災地復興の基調になっている。各地から、住民が復興の道筋を「自己決定」している、あるいは「自己決定」に挑戦しているという事例が聞こえてくる。

ひるがえって、住民同士の連帯感が薄いと言われる東京で、住民主体のまちづくりは可能なのだろうか。町会等の自治組織への加入率も低下傾向と聞く。散見される「まちづくり協議会」も、事務局は自治体担当課が担うなど、主体性が確立しているケースはまれである。

一方、住民の私権意識の高さは、命にかかわる防災のためとはいえ、行政からの押し付けを認めるべくもなく、やはり住民自身が自らまちづくりの展望を描き動くことでしか、東京の防災まちづくりは成功し得ないころも疑いない。

つまり東京における「防災まちづくり」においては、「住民私権意識の現実」と「あるべきまちづくりの形」とは、根底から矛盾している。

その矛盾の中において、まちづくりに携わる我々は、コミュニティをどのようにとらえ、どのようににかかわるべきか、学びたいと思う。

3 講師

法政大学教授（法社会学） **名和田是彦** 教授

4 開催日時

2012年10月3日（水）

18:30（開場18:00）～20:30

5 会場

旭化成ファミリーホール

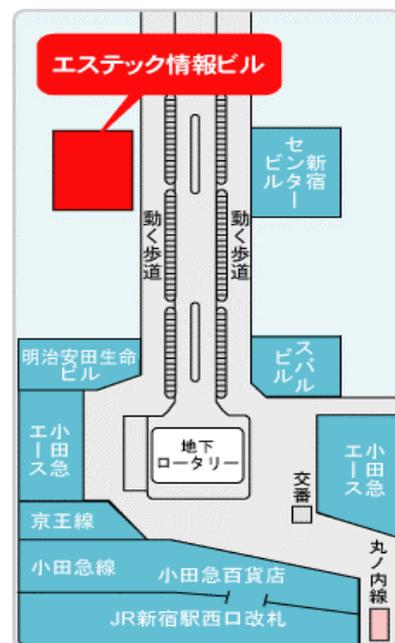
西新宿1-24-1 エステック情報ビル9F

6 資料代

一般：1000円 会員・学生：500円 賛助会員：無料

7 参加申込み

参加を希望される方は、9月28日（金）までに、「り・らいふ研究会事務局」までにメールにてお申込みください。お申込みにあたっては、氏名 所属 電話番号をご明記（様式自由）ください。



お問い合わせ、お申込みは、E-mail relife@relife.or.jp まで

東京都杉並区荻窪五丁目28-16 西武コミュニティオフィス306 り・らいふ研究会